



## 世界で多くのリスク

2016年、年初には予想もしなかつたことが、世界のあちこちで起きた。

米国の大統領にトランプ氏が選ばれるだろうと考えた人は、年初にはほとんど皆無だった。大統領選の開票の当日でも、まだトランプ氏が選ばれると予想する人は少なかつた。だから予想を覆してトランプ氏の当選が決まつたら、市場は大きく荒れる結果になつた。似たような動きは、イギリスがEUから離脱すると国民投票で決めた時にも起きた。これも予想

元重

伊藤

学習院大教授(国際経済学)

外の結果であった。当然、市場は大きく揺れ、田高株安の動きとなつた。欧州では2017年にフランスやドイツで重要な国政選挙があり、その結果も気になるところだ。

韓国の政治の動きも驚きだ。大統領制の韓国では、大統領が政権から途中で退陣するということは

## 予測不可能な時代に

ありえない」とだ。少なくとも年初にそうしたことを予想した人は1人もいなかつたはずだ。大統領の、友人の女性との関係が取りざたされ始めた時も、これが大統領の退陣を求める大きな動きになると考える人はほとんどいなかつた。それが、あれよあれよという

見え始めた日韓関係の融和がまた逆戻りしてしまうことが懸念される。朴槿恵大統領を強く批判している候補の中には、公然と日本を

## 重要性増す日米関係

敵性国家と呼ぶ人もいる。反日を叫ぶことで票が集まると考えていらう。国民党の中にも反日を支

持する人が少なくないのだろう。中国を刺激している。尖閣や南沙での強硬姿勢を繰り返している中國が、どのような動きに出でてくるのかも気になる。

ている。

安倍総理は世界の首脳に先駆けて当選直後のトランプ氏との会談事ばかりのように見える。国际情勢とはそうしたものであると割り切るしかないのかもしれない。いろいろなリスクを抱えながらも、それに対応していくしかないのだ。

ただ、こうした不確実な時代だ

要因は中台関係だ。台湾の政権が民進党に移つてから、中国との関係が難しくなっている。米国のトランプ次期大統領が台湾の蔡英文総統と電話会談をし、一つの中国に縛られないと発言したことも、

からこそ、日本の外交の柱である日米関係がますます重要な意味を持つ事になる。これが揺らぐよう